

【NEWS RELEASE】

2020年9月15日

各 位

 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
 株式会社プラスメディ

株式会社三井住友フィナンシャルグループによる株式会社プラスメディの連結子会社化について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、同社グループを総称して「SMBCグループ」）は、株式会社プラスメディ（代表取締役 社長兼CEO：永田 幹広、以下「プラスメディ」）を連結子会社化 しましたので、お知らせいたします。

（ 銀行業高度化等会社：銀行法第52条の23第1項 第11号の3に規定）

記

1. プラスメディについて

プラスメディは、患者サービスの向上と医療機関の業務効率化を支援する個人向けスマートフォンアプリ「MyHospital」を提供しています。

MyHospital には、後払い会計や処方箋情報FAX送信等の「通院・受診を支援するサービス」と、Myカルテや My おくすりといった「自分の健康・医療データを管理するサービス」があります。患者は、前者により待ち時間の削減や有効利用による患者体験の改善が得られます。また後者は、病院から検査履歴や薬剤処方履歴等 医療データの連携を受けアプリ上で確認することができる機能で、これにより自分の健康状態をデータにもとづき把握・管理・説明することが可能となります。更に、これらのサービスが普及することは医療機関等の業務効率化にも繋がります。

プラスメディは、MyHospital を通じ「人々が心身共に健康な生活を送ることを支援し、全ての人々が豊かな時間を過ごせる社会を実現するために貢献する」というビジョンの実現を目指しています。

MyHospital 日常と病院を繋ぐコンシェルジュアプリ



MyHospital は患者様がかかえる「できたらいいな」に応えるコンシェルジュアプリです。

通院・受診をサポートするサービス

サービス名	サービスの説明
電子診察券 ～ 病院TOP画面～	ご自身のスマートフォンが診察券となることでスムーズな受付が可能となります。 (電子診察券に対応していない病院もございます。)
待合順番通知	待合人数がある一定人数になった時点でアプリにプッシュ通知を送り、待合順番表を表示します。病院外でお待ちいただくことが可能になります。
後払い会計 ～ オンライン決済～	診察費がクレジットカードで自動的に決済されますので、並んで精算する必要がなくなります。会計履歴や、診療明細情報はスマートフォンで確認できます。 (ご帰宅が可能となるタイミングは医療機関により異なります。また、本機能をご利用の際はサービス利用料が発生する場合がございます。)
処方箋情報FAX送信	スマートフォンに処方箋情報が送信されますので、事前に行きたい薬局に処方箋情報をアプリから送信することができます。また、送信の際に、コメントを添えられるため、薬局への訪問時間や、要望などを事前に伝えることが可能です。
お知らせ・カレンダー	自動で領収書や決済の通知が届きます。また、次回の予約情報が通知され、カレンダーに記録されます。病院からのお知らせも通知されます。

自分の健康・医療データを管理するサービス

サービス名	サービスの説明
Myカルテ ～ 健康情報の管理～	ご自身や家族の健康情報の閲覧、管理ができます。受診履歴や処方されたお薬の情報も閲覧できます。また、検査や診察の結果を、過去に遡ってグラフで閲覧することができます。
Myおくすり ～ お薬の記録管理・ 飲み合わせチェック～	保険調剤明細書に記載されているQRコードで服薬状況を記録できます。市販薬をバーコードや手で登録し、服用している薬として記録することもできます。また、服用している市販薬やサプリとの飲み合わせチェックができます。

2. パーソナルデータ利活用にかかるSMB Cグループの考え方

データ駆動型社会である Society 5.0 の実現へ向けて、データの利活用が求められていますが、パーソナルデータが使われることへの「不安」や、利益や便益が還元されないことへの「不満」が課題となっております。SMB Cグループは、金融機関として培ってきた社会的信用を活かし、パーソナルデータを安心・安全に預かり・利活用を促し、個人の豊かな生活を実現することが、これからの金融機関に求められている新たな社会的使命の一つと考えております。

このような理解の下、SMB Cグループの三井住友銀行は、2019年3月以降、大阪大学医学部附属病院、日本総合研究所と共に、患者が自分の医療データをスマートフォンで確認できるようにする「医療データの情報銀行」にかかる実証事業を進めて参りました。医療データは数多のパーソナルデータの中でも、個人にとって最も価値のあるデータであると同時に、センシティブで託す相手を選ぶデータでもあり、SMB Cグループの信用が最も生きる分野であるとの考えからです。本実証事業を通じ、数多くの方(患者、患者家族)から、強い賛意と期待の声を頂いております。

情報銀行については、様々な説明や試みが為されていますが、SMB Cグループの考える情報銀行は、データポータビリティの考え方に則り、パーソナルデータの自己管理を実現するサービスです。パーソナルデータを確りと管理し、個人の意思にもとづき、個人の利益のためにデータを利活用することに主眼をおき、データの売買を主目的とはしない、あくまで「個人起点のサービス」です。

健康・医療データの利活用については、様々な事業者や団体による取り組みが始まっておりますが、様々な課題がございます。主には、各所に偏在している健康・医療データを集めて、本人が閲覧できるように整えることや、集めたデータを、安全面・倫理面に配慮しつつ、どのように利活用していくのかといった観点がございます。S M B Cグループは、各事業者・団体の方々と連携を図ることでこれらの課題を解決し、健康・医療データを核とした経済圏を創出していきたいと考えております。

3. 連結子会社化の目的

プラスメディがS M B Cグループに参画し、S M B Cグループの社会的信用や事業展開力が加わることで、より素早く、より多くの方々にプラスメディの先進的サービスをお届けすることができると考えております。

S M B Cグループがお取引頂いている医療機関等のお客さまへのご紹介に加え、「自分の健康・医療データを管理するサービス(Myカルテ、Myおくすり)」については、データをお預かりし管理するという観点で、金融機関としての信用やお客さまの個人情報を取扱ってきた経験が活きるものと考えております。また、S M B Cグループ基準での本人確認や情報セキュリティ管理の導入も、お客さまに安心してご利用頂く上でのメリットになると思います。

昨今のコロナ禍により、医療機関での滞在時間削減や業務効率化への期待が高まっております。MyHospitalは、そのようなニーズに応える上で、重要な役割を果たすことができるのではないかと考えております。

プラスメディとS M B Cグループは、ビジョン・価値観を共有しております。両者の強みを融合し、豊かな社会・豊かな生活を実現して参ります。

4. 各社の概要

名称	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
代表者の役職・氏名	取締役 執行役社長グループ CEO 太田 純
事業内容	銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに附帯する業務等

名称	株式会社プラスメディ
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 永田 幹広
事業内容	医療系アプリ事業 / ヘルスケア事業

以 上